

SC-060 センサレスアンプ ファン付き 取り扱い説明書

はじめに

R246 ブラシレスモーター用アンプSC-060をお買い上げいただきありがとうございます。このスピードコントローラーは、軽量、コンパクトサイズ、高性能を提供するように設計されています。

- 自動カットオフ
- 自動ニュートラルセッティング
- 自動セルシステム
- 最新ソフトウェア
- ヒートプロテクション
- フェエルセーフティーモード を装備しています。

この製品を使用する前に、この取り扱い説明書を十分に読み理解してください。

安全のための注意事項

SC-060を使用する前に、下記の事項を理解する必要があります。

- SC-060は1/10スケースかそれ以下の車両向けのものです。
- Kv値<ツーリングカー用4500Kv 及び<バギーカー用4000Kvが推奨です。
- 水中もしくは水のそばでスピードコントローラー (ESC)を操作しないでください。
- バッテリーワイヤーの逆接はしないでください。バッテリーの極性を逆にするとESCに回復不能な損傷を与えます。
- 使用しないときはバッテリーをESCから取り外してください。
- ショートを避けるため、熱収縮チューブで露出したワイヤー等を防護してください

クイックスタートガイド

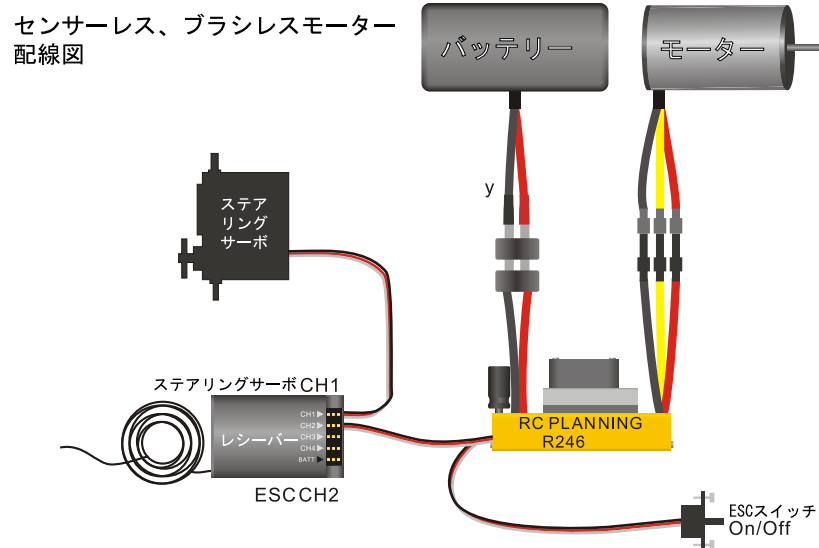
1. ESCとモーターを車に取り付けます。
2. ESCの3本のもモーター用ワイヤーにモーターワイヤーを接続します。
3. レシーバーの2chにESCのRxを接続します。
4. ESCのスイッチがオフになっている事を確認します。
5. バッテリーのプラグを接続します。
6. Txのスイッチを入れてからESCのスイッチを入れます。トーン音が聞こえます。数秒後に別のトーン音が聞こえたらESCは準備ができています。

仕様

入力電圧：7.2V (NiCd, NiMH & LiFe 2セル), 7.4V-11.1V (LiPo 2-3セル& LiFe 3セル)
出力：最大360ワット、25°Cで54A、75°Cで45A、ピーク240A
モーターサポート：Kv<4500Kv, 1/10スケールカー
BEC：5V, 2A
正味重力：72g
寸法：48 X 33 X 29 mm

取り付け配線図

下記に示された図に従ってESCを取り付けします。



Txのスイッチを入れます。4つの車輪が触れないように車体を持ち上げESCのスイッチを入れます。ESCが作動しスロットルのニュートラルを自動設定していることを示すトーン音が聞こえます。ニュートラルの設定に成功すると、別のトーン音で示されます。ニュートラルの設定に失敗すると、トーン音はしません。一度電源を切りESCが正確に配線されているか確認後再度スイッチを入れてください。

スロットルの進行方向がESCの進行方向と一致しているか確認、調整をしてください。確実に4車輪を浮かせた状態でスロットルを操作して下さい。スロットルの操作に対してタイヤが正しい方向に回転しているかを確認してください。もし逆転をしている場合はESCの電源を一度切り、Txのスロットル - リバーススイッチで反転させるか、モーターとESCを接続しているコードのどれか2本を入れ替えてください。これらの調整が終わったら再度ESCの電源を入れ、スロットルの前進方向がESCの前進方向と一致しているか確認してください。車を走らせる前には常にESCの動作確認をして下さい。

走行に際して

使用するモーターを決めたらピニオンギヤーを選定します。まず小さめと思える物よりはじめて下さい。そして順次ピニオンギヤーの歯数を上げて行って下さい。一つの目安として、2~3分走ってみてESCとモーター双方の温度を測定します。双方の温度が互いに近ければピニオンのギヤー比は合っていると考えます。ギヤー比は使用するモーター、車、コースの特徴に応じて異なります。これはピニオンギヤーを変更する事により最適に調整することが出来ますが、ギヤー比を調整するときにはモーターとアンプの両方の温度を常に80°C以下に保つ事が非常に重要です。ESCは温度が高く成り過ぎるとヒートプロテクトが作動しモーターが動かなく成る事があります。また温度を上げ過ぎるとFET等が燃える可能性もあります。これ等は使用者の設定が正しく無かった物と理解します。ヒートプロテクトが作動したら直ちに回収をし電源を切り十分にESCを休ませて下さい。

ESCの温度が外気温と同等まで下がれば再度ESCを使用することが出来ます。FET等が燃えてしまった場合修復は出来ません。またモーターの温度の上昇はモーターの消磁が生じ、モーターの性能を著しく低下させます、また殆どのバッテリーのエネルギーは、モーターの効率ではなく熱で消費されます。

ESCの温度が80°C以下の時にはギヤー比を上げる、モーターのKv値を上げる事が出来ます。また入力バッテリーの種類、電圧により設定が変わる事を理解しなければなりません。入力電圧を変更した場合、ギヤー比、モーターのKv値を新たに設定し直さなければなりません。入力電圧が変更されたときモーター等が適切に変更されていないとESCは燃える場合があります。SC-060には使用バッテリーの設定があります。これは使用するバッテリーにより自動カットオフの電圧数値が異なるためです。特にリチウムバッテリーを使用する場合、バッテリーの電圧を指定数値以下にするとバッテリーが壊れます。これを防ぐ為に使用者は自動カットオフの設定を正しく入力しなければなりません。これは自己管理です。自動カットオフは工場出荷時はLiPo2セルに合わされています。

設定と説明

SC-060は別売のSC-001プログラムカードを使用することにより下記の項目選択、設定することが可能です。下記はプログラムカードを用いて利用できる設定です。

リバース (後退走行)

- | | |
|------------|----------------------|
| 設定 1 : Off | リバース機能を停止させる。 |
| 設定 2 : Lo | リバースでは 30%のパワーのみ許可。 |
| 設定 3 : Mi | リバースでは 60%のパワーのみ許可。 |
| 設定 4 : Hi | リバースでは 100%のパワーのみ許可。 |

スタートパワー

- | | |
|------------|-------|
| 設定 1 : Std | 通常の加速 |
| 設定 2 : Lo | 低加速度 |
| 設定 3 : Mi | 中加速度 |
| 設定 4 : Hi | 高加速度 |

ドラッグブレイキ

- | | |
|------------|------------------------------------|
| 設定 1 : Off | 車はニュートラルのスロットルでモーターからの抵抗が殆どなく楽に進む。 |
| 設定 2 : Lo | ニュートラルのスロットルでモーターからのブレイキ効果が少ない。 |
| 設定 3 : Mi | ニュートラルのスロットルでモーターからのブレイキ効果が中程度。 |
| 設定 4 : Hi | ニュートラルのスロットルでモーターからのブレイキ効果が高い。 |

バッテリータイプ

- | |
|-----------------------------------|
| 設定 1 : NiMH |
| 設定 2 : NiCd / LiFe 2 セル |
| 設定 3 : LiPo 2 セル / LiFe 3 セル (6V) |
| 設定 4 : LiPo 3 セル (9V) |

⚠ Please follow correct battery types setting strictly. Wrong cut-off voltage setting will irreversibly damage your Lithium Polymer Packs.

RC PLANNING R246

発売元：京商株式会社
〒243-0034 神奈川県厚木市船子153
ユーザー相談室 Tel. 046-229-4115
SPECIFICATIONS ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE.
© Copyright 2010 KYOSHO CORPORATION

ROUTE 246 ホームページ
www.rc-r246.com

PRINTED IN CHINA